

千代田俳句同好会

昼寝覚原稿用紙は空のまま
一声に立ち上がりたる神輿かな
街並を豊かに繋ぐ百日紅
遠き日の初恋の道カナン燃ゆ
雨も好き炎天も好き野菜畑

櫻井筑娃
中島暉子
萩原初枝
福田妙子
山内勝昭

紫陽花俳句会

散策や力みなぎる秋の蝶
それぞれの塩加減あり梅を干す
湯上りの頬にやさしく秋涼し
さくさくと梨食む音の小気味よし

飯田 功
久保慶悦子
車田 きみ
福田 宏通

出島短歌会

採血をすれば気になるいくつかの数字上りて一人気をもむ
秋草の描かれている襖絵に度の新月光りそめたり
お互に采けが来たなと思いつつそっとうねと夫との会話
夏の日の路地から路地をこもまでも歩いてみたら猫に出合えた

飯島ヒロエ
岡田恭子
名倉親子
浜田留子

投稿作品

山裾に沈む夕陽に心して過ぐる一日の幸を思へり
山路にて笑まいる石仏に心癒さる京の山寺
秋匂う夜明けの涼に身を置けば百合の香あまき白青の空
今もなお太平洋の激戦の海に幾多の御霊語らす
曜日など閑りのない生業を真摯に生きた二万八千八百余日
明日の農良酒の助太刀借りる父
新鮮な夕餉の秋刀魚着はつむ

石塚 清
活野はつ子
吉田正道
中島良平
菅谷味子
やまぐちいさむ
扶美世

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。10月5日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。

わがふるさと 史宝をたずねて

市民学芸員が行く

シリーズ⑥

歩崎

歴史と伝説の景勝地 歩崎

坂歩崎が最初に記録に登場するのが『常陸国風土記』です。茨城郡の条の「東は香島、南は佐我流海(さかのがれうみ)のくだりです。」

夢の浮島・大山の秋月・香取の森・牛堀の帰帆・天王崎の夕照・高須崎の児松に包まれた三又沖の眺望、そして思いを有名な霞ヶ浦の沈鐘の伝説に馳せる景観は、まさに霞ヶ浦随一です。昭和8年には、茨城県指定名勝第一号を受けています。

今でも昔と変わらぬ景観を呈している歩崎を、ぜひ一度訪ねてみてください。信仰集める歩崎観音

出島半島突端部の、歩崎という呼称は、三又沖を航行中の船が暴風によつて沈没寸前になった時、船主が大声で「南無観世音菩薩」と唱えると観音様が水上を歩き、船を近くの崎に無事着岸させたという伝説に因みます。以来、人々は、「観音様が歩いて着いた崎」いうことからこの地を歩崎と呼ぶようになりました。歩崎には、歩崎山長禅寺が建立され、歩崎観音として水難除け・安産信仰を集める祈願寺となっています。

寺伝によると歩崎観音は、文明7年(1475年)の開山で本尊は十二面観音菩薩像(市指定文化財)で33年周期の御開帳でありましたが、平成24年8月16日に31年ぶりに御開帳され今では毎年御開帳されています。

石造物
・土浦藩・土屋氏寄進の常夜燈
江戸時代の舟運の活発さを物語る遺物です。
・映画「米」の撮影記念碑
美しい自然、文化を背景に昭和30年頃の農漁村の人々の生活が描かれており、当時がしのばれる映画です。
・保護官有林碑
境内付近の山林は、風光の美にとどまらず漁夫や船人の目標として重要でした。明治13年には、霞ヶ浦周辺の人々の熱意でこの山林の払い下げが取り消され、保安林の指定を受けました。

帆引き船の父 折本良平の碑
霞ヶ浦の風物詩にもなった帆引き船の父で、少人数でたくさん漁獲を上げられる漁法を称えた記念碑です。
(深井 征一郎)

郷土資料館
☎029(896)0017

あゆみ祭り

届けー

復興への想い、熊本へ

8月16日、かすみがうら市の夏の風物詩第29回「あゆみ祭り」が行われました。台風の影響によりプログラムを一部変更しての進行となりましたが、4月に発生した熊本地震の復興を願い、メインステージではふるさと大使オニツカサリーさんのライブやあゆみ太鼓、東洋大学付属牛久高校ダンス部などの笑顔溢れる力強いパフォーマンスが披露されました。他にも、帆引き船特別操業などが行われ、来場者はあゆみ祭りならではのさまざまな催しを楽しみました。

- 1 ちびっ子チャンパフ 2 会場にはたくさん子どもたちの姿 3 よさこいソーラン
- 4 霞ヶ浦中学校吹奏楽部
- 5 東洋大学付属牛久高校ダンス部 6 ふるさと大使オニツカサリー 7 あゆみ太鼓 8 カフトムシ大台戦

